

夏の宵を楽しむ

第5回つべつ七夕まつり開催

真夏の恒例イベントとなった『第5回つべつ七夕まつり』（主催 つべつ七夕まつり実行委員会）が、8月1日、さんさん館を会場に開催されました。

多目的広場前に設けられステージでは、キッズダンス・F.A.C.Eの踊りや地元音楽愛好グループの演奏、マジックショー、歌謡ステージなどが繰り広げられ、訪れた観客を楽しませました。

会場内に設けられた手作りの屋台・緑日コーナーは、冷たい飲み物や焼き鳥、いもちなどを求める人々ににぎわいを見せ、多くの来場者が夏の宵のひとつきを満喫していました。



▲まる太くんのテーマソングも披露されました

東北見地区郵便局がリングブルを寄贈 車椅子に換えて福祉事業に活用

7月21日、東北見地区郵便局で収集したリングブル77kgが、津別町社会福祉協議会（原田英機会長）に寄贈されました。

津別町、北見市、美幌町など11市町にある東北見地区郵便局（64局）では、1年間に収集したリングブルを、毎年、管内の社会福祉協議会に寄贈しており、今年は篠森紀仁津別郵便局長から津別町社会福祉協議会に贈られたものです。



▶篠森津別郵便局長（左）からリングブルを受け取る社協・山田事務局長（右）

寄贈されたリングブルは、これまで社会福祉協議会が収集したものと併せて車椅子に換え、福祉事業などに活用されます。

仮装コンテストも人気 つべつ納涼盆おどり大会開催

8月15日、つべつ納涼盆おどり大会（主催・津別観光協会、つべつ納涼盆おどり大会実行委員会）が津別神社境内で開催されました。

第一部では、子供盆おどり、アメリカン盆ダンスに続いて恒例のカキ氷早食い大会が行われ、小学生から大人の部まで、冷たく熱い戦いを繰り広げました。

開会セレモニーに続いて行われた第二部では、大人盆おどり、仮装盆おどりコンテストが行われ、カラフルでユニークな衣装を身につけた踊り手たちのグループが観衆の笑いを誘い、会場の雰囲気盛り上げました。



思いやりの心をつなぐ ふれあい広場&友愛セール



7月26日、高齢者や障がい者の社会参加と地域住民とのふれあいを目的とした「第24回つべつふれあい広場」（津別町社会福祉協議会主催）と津別更生保護女性会による「第42回友愛セール」が、中央公民館で開催されました。

会場前には焼き鳥や焼きそばなどの屋台が並び、多くの町民が訪れました。

また、館内では家庭介護者教室が開かれ、介護用具の体験コーナーも設けられるなど、楽しみながら介護等について考える機会となりました。

秋の全国交通安全運動

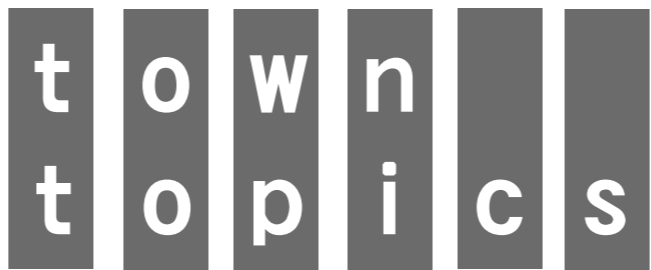
9月21日（月）～30日（水）

運動の重点

- ①子どもと高齢者の交通事故防止
- ②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶



問い合わせ先
住民企画課
住民環境グループ
☎ 76 - 2151
(内線 216)



まちのわだい

岩谷高峰さんが指導 グレステンスキー講習会開催

7月25・26日の両日、つべつグレステンスキー場で、グレステンスキー講習会が開催されました。

アルペンスキーのサラエボオリンピック代表で、全日本グレステンスキー公認インストラクターの岩谷高峰さんを講師に迎え、「グレステンスキーを利用したアルペンスキーの基本動作のマスター」をテーマに講習が行われました。



最初はぎこちない動きが目立っていた参加者たちも、岩谷さんの指導を受けて見る見る上達し、気持ちよさそうにグレンデを滑り降りていました。

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

22 馬の思い出

檜山 知弘

森や川を歩いたり、野菜を作ったり、津別の色々を楽しむのが目標。あいおい物産館でそば打ちをしています。

古いモノクロの馬の写真、馬そりや馬具。それから思い出話。津別に来て、気づいたことのひとつが、この町に馬がいた気配。発動機つきの機械が普及するまで、馬は人と共に働く仲間だった。農耕、移動や運搬、そして津別ではもちろん木材の伐り出しにも大活躍していたことだろう。

だから、馬がいたのは当たり前だし、今でもお年寄りから馬と暮らしたことだろう。

馬と働き、馬と肩を寄せ合うように暮らす。津別の森のほとりでそんな生活が営まれていたのだと思うと、いつもの森のある風景が、少し違ったものに見えてくる。